

WEB、電話等、さまざまなサービスをリアルタイムに

QiTalk Server

AITalk®5 Serverは、電話自動応答やインターネットサービスなど、ネットワークを利用し、マルチタスクで合成処理を行う場合に最適なエンジンです。

提供形態	サーバー設置型	主な用途	電話自動応答の音声 / WEBキャンペーン・WEBサービス
------	---------	------	-------------------------------

機能紹介

感情表現を実現
 任意の文章を人間の声で合成します。最新のAITalk®5 Serverではシチュエーションや用途に合わせた感情表現も実現しました。

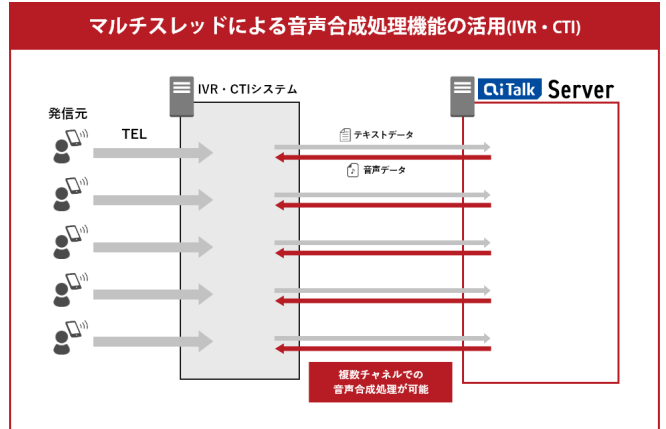
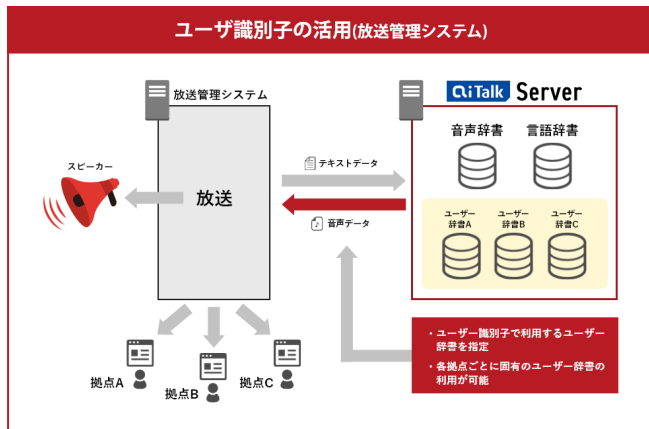
単語辞書機能
 地名や名前などの特殊な読み方をする単語を辞書として登録できます。※ユーザー辞書ファイル生成用のGUIツール(Windows用)が付属します。

マルチスレッド対応
 CPUコア数に応じた音声合成処理を同時に実行可能でマルチコアCPUのメリットを最大限に活かします。

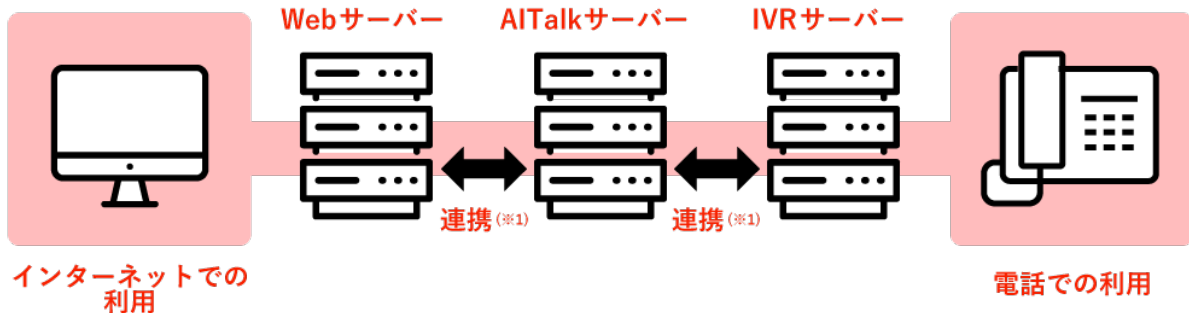
RESTインターフェース(HTTP/1.1)
 WEBサービス等で、より使い易い、RESTインターフェースを採用。

SSMLサポート
 SSML (W3C勧告) 対応で、多彩な調整を汎用的なルールで指定することができます。

開発時のシステム構成イメージ



構成図



(※1) データ連携は REST インターフェイス (HTTP/1.1) での連携となります。



動作環境

CPU	AVX 拡張命令対応のプロセッサ *1
メモリ	約 600 MB (1 話者使用時) *2
HDD	約 600 MB (1 話者使用時) *2 *3
OS (Windows)	Windows 10 日本語版(64 bit) Windows 8.1 日本語版(64 bit) Windows Server 2019 日本語版 Windows Server 2016 日本語版 Windows Server 2012 R2 日本語版 Windows Server 2012 日本語版
OS (Linux)	Red Hat Enterprise Linux: 7.7(x64), 8.1(x64) Cent OS: 7.7(x64), 8.1(x64) Ubuntu (Server / Desktop): 18.04 LTS (x64), 20.04 LTS
ファイルフォーマット *4	16 bit リニア PCM 形式 8 bit リニア PCM 形式 8 bit μ -Law PCM 形式
対応中間言語フォーマット	AI 独自規格

- *1: Intel "Sandy Bridge" Core i3 以上, AMD Bulldozer, AMD Jaguar 以上のプロセッサ。
DNN パラメトリック音声合成を使用しない場合は、AVX 拡張命令に対応していない CPU (Intel Pentium 4 又はAMD Athlon 64以上のプロセッサ) でも動作します。
- *2: AiTalk の利用する領域です。動作には、OS などの利用する領域が別途必要です。
また、話者によって必要な大きさは異なります。この値は「のぞみ」で計測した参考値です。
- *3: 話者 1 名の追加につき、300 MB 程度。(DNN 音声合成の話者は、20 MB 程度)
- *4: 音声はモノラルとなります。
音声合成時のサンプリング周波数は、音声辞書によって異なります。音声辞書は 48 kHz, 44 kHz, 22 kHz, 16 kHzのいずれかです。
付属するリサンプリング処理機能を用いて、任意のサンプリング周波数の音声データを得られます。
- ※ 当製品は OSS を利用しています。製品同梱のライセンス情報をご確認ください。
- ※ 記載以外の環境については別途お問い合わせください。



製品、サービスに関するお問い合わせ

電話による受付



03-6801-8461

受付時間 / 10:00-17:00 (土日祝日および当社休業日を除く)

メールによる受付

<https://www.ai-j.jp/contact/>